

R7年度食育関連事業一覧

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R7事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R7事業実績	R7成果指標と実績		R7活動指標と実績		部局	担当課室	担当班
										項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)	項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)			
1	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)乳幼児・児童・思春期における食育の推進	A特	R5	大分県	1,999	おおいたスクールヘルスケア事業	児童生徒の健康課題の解決に向け、学校、家庭、地域医療が連携して、個に応じた対策を進めることで、生涯にわたる健康づくりの基盤を形成する。	・モデル地域における事業実施 ・健康診断、身体測定等による実態把握・成長曲線の活用 ・中等度、高度肥満の児童生徒に対し、医療機関への受診勧奨 ・軽度肥満の児童生徒に対し、学校内での個別相談指導 ・親子すこやか教室の開催 ・健康づくり動画配信 ・実践事例集の作成	推進地域における中等度・高度肥満傾向児出現率(%)	7.3 7.2	身体測定等によるデータに基づいた実態調査(回)	2 2	教育庁	体育保健課	学校保健・食育班
2	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	B	H14	大分県	800	生涯健康「元気な食卓」推進事業	食生活改善推進員の特性を活かし県産品を活用した調理実習などを行い、生涯健康「元気な食卓」(減塩、野菜・果物摂取量増加、伝統料理)の普及と実践の定着化を図る。	食生活改善推進員により、第二次生涯健康県おおいた21の目標達成に向けた普及啓発と伝承料理の調査研究の中からテーマを選択し、県下において創意工夫して実施する。	-	-	-	福祉保健部	県民健康増進課	健康寿命延伸班	
3	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A継	R2	大分県	8,981	おおいた食の環境整備事業(うま塩×まず野菜、もっと野菜)	これまでの高血圧対策(うま塩プロジェクト)と野菜摂取増進の取組(まず野菜、もっと野菜プロジェクト)を兼ね備えた中食や外食の拡大推進、県民への普及啓発を通して、食の環境整備を図る。	①「うま塩もっと野菜推進部会」の開催 ②健康で美味しい食事を选べる機会の拡充 ・「食の健康応援団」の拡充と普及 ・「うま塩もっと野菜スタンプラリー」利用者の増加 ③「うま塩もっと野菜」の推進 ・「うま塩」と「まず野菜、もっと野菜」の一体的な普及啓発による取組強化 ・うま塩もっと野菜レシピのSNS等の配信 ・ベジチェック®を用いた野菜摂取量の可視化	-	-	-	福祉保健部	県民健康増進課	健康寿命延伸班	
4	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A継	R2	大分県	2,678	住民参画型介護予防継続支援事業	専門職と連携しながら地域の高齢者が主体的に介護予防活動を継続できるような体制整備する。	(1)住民参画型介護予防推進検討委員会の開催(年3回) (2)介護予防多職種連携推進会議・研修会の開催(年2回) (3)フレイル予防普及啓発強化	-	-	-	福祉保健部	高齢者福祉課	地域包括ケア推進班	
5	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A継	H17	大分県	214	食の安全・安心推進事業	食品の安全・安心に係る消費者向けの研修会や食品関連事業者と消費者を対象としたリスクコミュニケーションの実施により、食の知識や安全性に関する相互理解を深める。	・消費者を対象とした食品表示等に関する研修会の実施(2回)	消費者等の理解度向上割合	80% 93.1%	消費者等を対象にした研修会の開催回数	2 2	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
6	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A継	H25	大分県	300	食の安全・安心推進事業	食品関連事業者を対象に、適正表示に関する理解を深める講習会や適正表示相談会を実施し、適正表示推進者の育成を図る。	・新規事業者や新任者を対象とした食品適正表示基礎講習会の実施(1回) ・食品衛生責任者実務講習会における講習の実施(14支部×4回)	-	-	-	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班	
7	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A継	R3	大分県	10,257	次世代へつなぐ食育推進事業(食育のネットワークの構築)(第4期大分県食育推進計画に基づく取組)	①地域での食育活動の活性化 ②関係者と連携して食育の推進を図る ③～⑤第4期大分県食育推進計画に基づく食育の推進	①おおいた食育人材バンクの運営 ②関係者との連携強化 ・食育推進会議2回 ・食育推進幹事会1回 ・市町村食育推進状況の情報共有 ③年間を通じた農林漁業体験と情報発信 6回 ④学校給食食育動画の啓発チラシの作成 ⑤おおいた「食」のストーリー継承事業 ・食文化講座の実施 3回 ・次代に残したい大分の郷土料理レシピ集(令和版)の作成 15品	食育活動参加者数	3500人 3795人	食育推進会議開催回数	2回 3回	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
8	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	R4	大分県	992	おおいた食の地産地消推進事業	①県産食材の利用促進 ②若年層への地産地消の意識づけ	①県産食材を利用した料理を提供する飲食店の情報発信 ②地産地消商品開発コンテストの実施	-	-	-	農林水産部	地域農業振興課	地域連携・世界農業遺産推進班	
9	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	H29	大分県農業協同組合中央会	1,500	米麦大豆等生産流通対策事業(米消費拡大推進事業)	日本の人口は少子高齢化などで減少の一途をたどり、米の需要・消費についても人口減少に加えて食の多様化や家族構成の変化に伴い、今後も減少傾向が継続していくことが想定される。ついでに、県産米のおいしさや良さを、各種イベント等を通じて広く県民にPRし、家庭用向け消費を喚起するとともに、日本型食生活(米飯食)の持つ健康で、充実した食生活の重要性の周知を図り、県産米の消費拡大につなげる。	日本型食生活啓発(以下の取組)を通じて県産米の消費拡大に寄与する。 ・JA女性組織と連携した、県内保育園・幼稚園でのおにぎり教室 ・健康アプリ「おおいた歩得」利用者プレゼントへの県産米の提供 ・大分駅ビル・商業施設などで、デジタルサイネージを活用した広報活動の実施 ・地産地消及びおむすびの日に伴う地元紙への広告掲載	-	-	-	農林水産部	水田畑地化・集落営農課	水田活用推進班	
10	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	A継	H28	大分県カボス振興協議会	3,250	The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業(カボス振興対策)	県を代表する産品の「大分かぼす」を全国にPRし、需要拡大を図る(カボス振興協議会負担金)。	・かぼすの生産振興ならびに流通改善及び宣伝による消費拡大に関する事業 ・「食生活改善推進員向け大分県産品を使ってお魚料理教室」へのかぼす提供およびかぼす講座(8回) ・調理師専門学校や教育機関(小学校、中学校、高校、大学)等と連携したかぼす料理教室の実施、学校給食へのかぼす提供	-	-	-	農林水産部	おおいたブランド推進課	流通企画班	
11	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	H17	大分県	431	生きる力をはぐくむ食育推進事業	子どもたちに望ましい食習慣と自己管理能力を身に付けさせるため、学校、家庭、地域が連携しながら食育の推進を図るとともに、地場産物を活用するなど、安全・安心な学校給食の提供を目指す。	・栄養教諭を活用した学校教育活動全体での食育の推進 ・学校、家庭及び地域と連携した食育の推進 ・地場産物を活用した学校給食をとおした食育推進 ・食育推進、衛生管理や食物アレルギーに関する研修会の開催	-	-	-	教育庁	体育保健課	学校保健・食育班	

R7年度食育関連事業一覧

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R7事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R7事業実績	R7成果指標と実績		R7活動指標と実績		部局	担当課室	担当班
										項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)	項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)			
12	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	B	H28	大分県酪農協同組合	3,051	牛乳消費拡大推進事業	県産牛乳の消費拡大に向け、牛乳や酪農に対して理解醸成を図るため、酪農体験教育等への支援を実施する。	(1)酪農体験教育 ・幼稚園・小学校等への訪問 ・牧場への受入体験(幼稚園児・小学生等) (2)酪農イベント (3)事業実施推進(事業計画の立案、体験準備打ち合わせなど)	-	-	酪農体験イベント回数(回)	10 (10)	農林水産部	畜産振興課	企画流通班
13	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	B		大分県椎茸振興協議会	1,620	椎茸振興対策事業	しいたけ生産者の技術向上を図るための生産対策や、消費者との関係強化を図る消費拡大対策を通して、しいたけ産産の振興を図り、生産者の所得向上に寄与する。	大分しいたけ食の伝道師による料理教室等の実施 イベントでの情報提供	-	-	-	-	農林水産部	林産振興室	椎茸振興班
14	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	A 継	R6	大分ジビエ振興協議会	2,880	大分ジビエ普及推進事業	学校給食でのジビエ利用の定着及び食育の推進を図る。	学校給食でジビエを使用する際に必要となる経費を支援(ジビエ肉代等)	-	-	-	-	農林水産部	森との共生推進室	森林環境保護班
15	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	A 継	R7	大分県漁業協同組合等	4,094	海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業	県内消費対策として大分県栄養士会を通じた食生活改善推進員や企業食堂への魚食レシピの伝達による魚食普及活動や「おおい県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を行い、県産魚消費拡大を図る。	・市民向けお魚料理教室の実施 ・小中高校での海づくり教室の実施	-	-	海づくり教室の開催回数	18 18	農林水産部	漁業管理課	団体流通班
16	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境に配慮した食生活の推進	A 継	R7	大分県	7,634	未来の環境を守る人づくり事業	①グリーンアップおおいアドバイザーを派遣し、食を含めた環境保全に関する知識の普及・啓発を図るとともに、参加者のグリーンアップおおいへの理解増進と参加促進を図る。	①グリーンアップおおいアドバイザーの派遣を実施	-	-	-	-	生活環境部	環境政策課	企画・環境政策班
17	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境に配慮した食生活の推進	B	R5	大分県	6,029	食品ロス削減推進事業	県民への食品ロス削減意識の醸成を図る。	・大分県食品ロス削減推進協議会の開催 ・「てまどりキャンペーン」の実施 ・「食べきりキャンペーン」の実施 ・食べきり協力店・応援店の拡充 ・新聞広報による周知啓発 ・フードドライブの周知・啓発 ・食品ロス削減推進サポーターの育成 ・30・10運動の周知啓発	-	-	-	-	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
18	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(3)環境と調和のとれた農林水産業の推進	A 継	R2	大分県	3,703	GAPを活かす産地育成事業	安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、GAP(農業生産工程管理)に取り組む産地を育成し、JGAP等の外部認証を取得する産地を支援する。	1 GAP指導体制確保 ・GAP指導員研修の開催 2 GAPの普及拡大 ・農業者へのGAPの理解促進セミナーの開催	GAP指導員による指導数【経営体】	180 185	JGAP指導員研修開催(回) JGAP指導員資質向上研修開催(回) GAP理解促進セミナー開催数(回)	1 1 1 3 1 1	農林水産部	地域農業振興課	安全農業班

R8年度食育関連事業一覧

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R8事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R8事業計画	R8成果指標		R8活動指標		部局	担当課	担当班
										項目名	指標	項目名	指標			
1	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	B	H14	大分県	800	生涯健康「元気な食卓」推進事業	食生活改善推進員の特性を活かし県産品を活用した調理実習などを行い、生涯健康「元気な食卓」(減塩、野菜・果物摂取量増加、伝統料理)の普及と実践の定着化を図る。	食生活改善推進員により、第二次生涯健康県おいた21の目標達成に向けた普及啓発と伝承料理の調査研究からテーマを選択し、県下において創意工夫して実施する。	-	-	-	-	福祉保健部	県民健康増進課	健康寿命延伸班
2	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A	R2	大分県	10,554	おいた食の環境整備事業(うま塩×まず野菜、もっと野菜)	これまでの高血圧対策(うま塩プロジェクト)と野菜摂取増進の取組(まず野菜、もっと野菜プロジェクト)を兼ね備えた中食や外食の拡大推進、県民への普及啓発を通して、食の環境整備を図る。	①「うま塩もっと野菜推進部会」の開催 ②健康で美味しい食事を選べる機会の拡充 ・「食の健康応援団」の拡充と普及 ③「うま塩もっと野菜」の推進 ・「うま塩」と「まず野菜、もっと野菜」の一体的な普及啓発による取組強化 ・ベジチェックを用いた野菜摂取量の可視化 ④ナッジを活用した社員食堂の食環境改善	-	-	-	-	福祉保健部	県民健康増進課	健康寿命延伸班
3	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)生涯を通じた食育の推進	A	R2	大分県	3,009	住民参画型介護予防継続支援事業	専門職と連携しながら地域の高齢者が主体的に介護予防活動を継続できるよう体制整備する。	(1)住民参画型介護予防推進検討委員会の開催(年3回) (2)介護予防多職種連携推進会議・研修会の開催(年1回) (3)フレイル予防普及啓発強化	-	-	-	-	福祉保健部	高齢者福祉課	地域包括ケア推進班
4	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)生涯を通じた食育の推進	A	H17	大分県	354	食の安全・安心推進事業	食品の安全・安心に係る消費者向けの研修会や食品関連事業者と消費者を対象としたリスコミュニケーションの実施により、食の知識や安全性に関する相互理解を深める。	・消費者等を対象とした食品表示等に関する研修会の実施(3回)	消費者等の理解度向上割合	80%	消費者等を対象にした研修会の開催回数	3	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
5	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)生涯を通じた食育の推進	A	H25	大分県	309	食の安全・安心推進事業	食品関連事業者を対象に、食品表示に関する講習会を実施し、適正表示に関する理解促進を図る。	・新規事業者や新入者を対象とした食品適正表示基礎講習会の実施(1回) ・食品衛生責任者実務講習会における講習の実施(14支部×4回)	-	-	-	-	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
6	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A	R3	大分県	10,937	次世代へつなぐ食育推進事業(食育のネットワークの構築)(第5期大分県食育推進計画に基づく取組)	①地域での食育活動の活性化 ②関係者と連携して食育の推進を図る ③～⑤第5期大分県食育推進計画に基づく食育の推進	①おいた食育人材バンクの運営 ②関係者との連携強化 ・食育推進会議 2回 ・食育推進幹事会 1回 ・市町村食育推進状況の情報共有 ③食育体験事業と情報発信 3回 ④学校給食食育動画の普及 ⑤おいた「食」のストーリー継承事業 ・おいた食文化継承プロジェクトの開催(食文化講座の実施 5回) ・次代に残したい大分の郷土料理レシピ集(令和版)の作成 15品	食育活動参加者数	3,934	食育推進会議開催回数	2	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班
7	2 魅力ある地域の食文化の次世代への継承と活用(地域での取組)	(3)地産地消の推進	A	R3	直売所大分県	7,708	直売所を拠点とした中山間地域農業推進事業	①地産地消の拠点である直売所の販売拡大 ②農産物の県内消費拡大	①経営ステップアップ事業 加工品開発、広域流通実証、レイアウト変更、交流イベントの開催に関する支援 ②直売所育成コンダクター設置 ③安心おいた直売所の推進 ④直売所研修会の開催 ・栽培研修会等2回	直売所の付加価値額	20	魅力向上につながる取組を行った直売所数	3	農林水産部	農地活用・営農推進課	地域営農企画班
8	2 魅力ある地域の食文化の次世代への継承と活用(地域での取組)	(3)地産地消の推進	A	R7	県学校給食会	54,543	県産食材県内消費拡大緊急対策事業	学校給食への県産食材提供を通じた認知度向上及び消費拡大	①県産食材の提供 2品目 ②食育出前講座の実施 3校	提供品目数	2	食育出前講座の実施回数	3	農林水産部	おいたブランド推進課	流通企画班
9	2 魅力ある地域の食文化の次世代への継承と活用(地域での取組)	(3)地産地消の推進	B	H17	大分県	448	生きる力をはぐくむ食育推進事業	子どもたちに望ましい食習慣と自己管理能力を身に付けさせるため、学校、家庭、地域が連携しながら食育の推進を図るとともに、地場産物を活用するなど、安全・安心な学校給食の提供を目指す。	・栄養教諭を活用した学校教育活動全体での食育の推進 ・学校、家庭及び地域と連携した食育の推進 ・地場産物を活用した学校給食をとおした食育推進 ・食育推進、衛生管理や食物アレルギーに関する研修会の開催	-	-	-	-	教育庁	体育保健課	学校保健・食育班
10	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	B	H28	大分県酪農協同組合	3,051	牛乳消費拡大推進事業	県産牛乳の消費拡大に向け、牛乳や酪農に対して理解醸成を図るため、酪農体験教育等への支援を実施する。	(1)酪農体験教育 ・幼稚園・小学校等への訪問 ・牧場への受入体験(幼稚園児・小学生等) (2)酪農イベント (3)事業実施推進(事業計画の立案、体験準備打ち合わせなど)	-	-	酪農体験イベント回数(回)	10	農林水産部	畜産振興課	企画流通班
11	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)農林漁業体験等を通じた体験活動の推進	B		大分県椎茸振興協議会	1,620	椎茸振興対策事業	しいたけ生産者の技術向上を図るための生産対策や、消費者との関係強化を図る消費拡大対策を通して、しいたけ産業の振興を図り、生産者の所得向上に寄与する。	大分しいたけ食の伝道師による料理教室等の実施イベントでの情報提供	料理教室等実施回数	-	-	-	農林水産部	林産振興室	椎茸振興班
12	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境と調和のとれた農林水産業の推進	A	R7	大分県	55,370	おいたの有機産地等拡大促進事業	①有機農業に取り組み産地の育成 ・市町と連携した広域指導体制の構築 ・市町村による有機農業等取組支援 ・主要品目の生産拡大へ向けた施設等整備支援 ②環境負荷低減事業活動の促進 ・グリーンな栽培体系への転換サポート ③有機農産物の流通・販路拡大 ・販路開拓の支援	みどり認定者数(累積認定者数)	70	広域組織出荷者数(累積出荷者数)	13	農林水産部	地域農業振興課	安全農業班	
13	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境と調和のとれた農林水産業の推進	B	R4	大分県	27,421	環境に配慮した農業定着化推進事業	環境負荷の軽減及び地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動の推進	①環境保全型農業直接支払交付金の交付 ・有機農業 ・堆肥の活用 等	-	-	-	-	農林水産部	地域農業振興課	安全農業班

R8年度食育関連事業一覧

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R8事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R8事業計画	R8成果指標		R8活動指標		部局	担当課	担当班
										項目名	指標	項目名	指標			
14	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境と調和のとれた農林水産業の推進	B	R8	大分県	8,655	GAP普及拡大加速化事業	①GAP(農業生産工程管理)に取り組む産地の育成 ②JGAP等の外部認証を取得する産地の支援	①GAP指導体制確保及びGAPの普及拡大の推進 ・GAP指導員研修の開催 ・団体認証研修の開催 ・GAP指導員の資質向上研修の開催 ・生産者へのGAP理解促進セミナーの開催 ②JGAP等の外部認証取得への補助 ・JGAP残留農薬検査補助 ・団体認証補助(新規)	-	-	-	-	農林水産部	地域農業振興課	安全農業班
15	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	A 継	R7	大分県漁業協同組合等	3,838	海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業	県内消費対策として大分県栄養士会を通じた食生活改善推進員や保育園等への魚食レシピの伝達による魚食普及活動や「おおい県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を行い、県産魚消費拡大を図る。	・市民向けお魚料理教室の実施 ・小中高校での海づくり教室の実施	-	-	海づくり教室の開催回数	18	農林水産部	漁業管理課	団体流通班
16	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)環境に配慮した食生活の推進	A 継	R6	大分県	9,171	未来の環境を守る人づくり事業	①グリーンアップおおいアドバイザーを派遣し、食を含めた環境保全に関する知識の普及・啓発を図るとともに、参加者のグリーンアップおおいへの理解増進と参加促進を図る。	①グリーンアップおおいアドバイザーの派遣を実施	-	-	-	-	生活環境部	環境政策課	企画・環境政策班
17	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境に配慮した食生活の推進	B	R5	大分県	5,753	食品ロス削減推進事業	県民への食品ロス削減意識の醸成を図る。	・大分県食品ロス削減推進協議会の開催 ・「てまえどりキャンペーン」の実施 ・「食べきりキャンペーン」の実施 ・食べきり協力店・応援店の拡充 ・新聞広報による周知啓発 ・フードドライブの周知・啓発 ・食品ロス削減推進サポーターの育成 ・30・10運動の周知啓発	-	-	-	-	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班